



敬玲さん（中国出身）
金華市との交流に通訳として活躍

私は18年前に中国の重慶市から留学生として日本に生まれました。学生時代は、東京でアルバイトをしながら、留学生活を送っていました。留学生活は大変でしたが、夢と希望に溢れ、日本の方々にたくさんお世話になり、親しい友達と出会い、楽しい毎日でした。日本の人は礼儀正しく、親切な人が多く、長く住みたいと思って、日本人と結婚したいという単純な思いで、東京に勤めている現在の主人と出会い結婚しました。

しかし、主人は栃木出身で長男であるため、栃木で過ごさなければならぬことになり、住み慣れた東京

から栃木市で生活を始めました。それから現在に至るまで、色々大変な時期がありました。特に子育ての中、情報不足で幼稚園などの連絡の取り方がわからず主婦達との話題も合わなくなり、また唯一頼れる主人は朝から晩まで東京に勤めているので、子供に寂しい思いをさせてしまいました。さらに、義母親の介護で心身共に疲れて、学生時代の理想と現実が大きくかけ離れ、寂しく悲しく落ち込んで、中国に帰りたいと何度も考えました。しかし、可愛い我が子を見て、母親として、強く生きなければならぬと何度も自分に言い聞かせ、主婦としての生活を送りながら、積極的に、前向きに自分を表現できるように再スタートを決めました。最初は地域の活動に参加して、色々な人と出会い、皆さんに温かく接していただきながら交流を深めていくうちに、段々と自信がついて来て、生活は少し楽な気持ちになりました。

現在、子供は小学3年生になり、やっと自分の時間が取れるようになりました。国際交流活動に参加して、通訳をしたり、また語学を生かして、中国語を教えたりしています。忙しい毎日ですがとても充実しています。特に、栃木市と中国金華市は友好都市として毎年小学生の交流が行われています。私は通訳の仕事を通じて、日中両国の交流のために子供達の架け橋になれるよう、微力ながら協力していきたいと思っています。

子供がもう少し大きくなったら、将来の夢は、母国中国の文化をもっと勉強して、中国喫茶を開いて、中国に興味ある人達に中国の文化と習慣を伝え、日中友好交流の場として発信していきたいと考えています。

外国人代表者委員会の委員募集！

栃木市国際交流協会（TIC）は、市内在住外国人共通の悩みや意見を提案したり、市に関するさまざまな情報を友人や仲間に伝える役割ができる外国籍の方を募集しています。お知り合いで推薦できる方がいましたら、ぜひお知らせください。